



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 8月
No.11



●今月の強調目標
戦略 2032

●今月のことば
「独坐観念」

『茶湯一会集』 井伊直弼

仙洞田 安宏君 選

今月の例会案内（第11回）

あずさ部長公式訪問

- 日時：2023年8月2日（水）18:30～20:30
- 会場：シャトレーゼホテル談露館
- 司会：米山 俊彦 君
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 仙洞田安宏 君
- ・ワイズディナー
- ・部長卓話 あずさ部部長・森本 俊子様
「私流、こんな興味の膨らませ方」
- ・ニコニコタイム
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長



7月8日（土）、やまなみクラブ・山梨YMCA・県立青洲高校共催で「やまなしグローバルフェスタ2023」を開催、やまなみメンバーとYMCAユース（甲府駅北口よっちゃばれ広場にて）

7月のデータ

会員数:12名 例会出席:7名
 メーキャップ:3名(大澤:甲府クラブ例会
 /土橋:グロフェス/渡邊:役員会)
 例会出席率:58% 修正出席率:83%

ハッピーバースデー

メン 藤原 一正 (8/23)

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば 仙洞田安宏君

井伊直弼は当代一流の茶人でした。よく知られた「一期一会」という言葉は、『茶湯一会集(ちやのゆいちえしゅう)』の冒頭で直弼が初めて使った言葉とされています。「独坐観念」とは、茶会が終わり客が帰った後、亭主は直ぐに片付けを始めるのではなく、茶席に戻り、釜の前に座して、お客様は今頃はどこまで帰られたらどうか等、思いを馳せながら、今日の茶会は再びかえらないことを観念し、やがて無一物の境地にいたることを説いたものです。
 これをワイズの例会に例えて考えることもできます。月に一度の、メンバー、ゲストとの交わりや学びを終え、閉会の鐘の音を聴き、本日の例会を振り返る。そんな心のゆとりを持って例会に臨みたいものです。

やまなしグローバルフェスタ 2023

ワイズ新年度がスタートして早々の7月8日(土)、甲府駅北口のよっちゃんばれ広場と隣の歴史公園を会場に、「やまなしグローバルフェスタ2023」を開催しました。数日前からの天気予報で、降水確率が高く心配していましたが、なんとか傘の出番もなく、また前日の猛暑日(35.5度)から一転、28.0度と過ごしやすい環境に恵まれました。

このイベントは、山梨県内に在住の外国人の交流を通して異文化理解を深めることを目的に、昨年のチャーター記念事業に引き続き開催したものです。今回も山梨YMCAのユースや県立青洲高校の生徒さんたちが企画から加わり、何度もZOOMやLINEで打ち合わせを重ねてきました。この時期の開催となったのは、アメリカ・ミネソタ州の高校生たちが、青洲高校の家庭にホームステイするプログラムに合わせたものです。

9時からの開会を前に、準備のため関係者が集まりだし、やまなみクラブは山梨YMCAの大型テントの設

営をYMCAのユースリーダーと共に、タイコーヒー販売のための準備をしました。

今年は昨年よりも出展団体、キッチンカーも多く、会場は賑やかな雰囲気でしたが、天気予報が「負の予報」のせいか、来場者の出足が鈍く感じました。それでも、各国の民族ダンスなどのパフォーマンスがはじまると、徐々に人出も増えて賑やかさが増してきました。



フィナーレのよさこい踊りのメンバーと来場者が一緒に輪になって踊った場面は、まさにこのイベントを象徴するものでした。

甲府やまなみ参加者:藤原・松本・米山・遠藤恭範・土橋・三井・仙洞田・福田



【アフリカ(ガーナ)音楽のパフォーマンス】



【歴史公園での“水掛けまつり”】

●●●● 7月例会報告 ●●●●

グローバルフェスタの片付けが予定より早く終わったため、当初予定していた藤村記念館(閉館後の借用)から、県立図書館(グローバルフェスタのスタッフ控え室として借用)に会場を変更し、7月例会を開催しました。

新年度の始まりということで、やまなみクラブとしては初めての定時総会を開催、藤原会長が議長となり、前年度の事業報告と決算・監査報告、新年度の

事業計画、予算案を審議・承認しました。この中で、基金や慶弔規定等を定めた施行細則が提案され、承認されました。また、メンバーとパートナーの誕生日祝いに、ワイズ物品の中から「ワイズスプーン」を贈呈しました。

その後、「魚そう北口分店」に移動し、今日1日の慰労を兼ねて懇親会を催しました。

出席者:藤原・松本・米山・遠藤恭範・三井・仙洞田・福田

グローバルフェスタに参加して

山梨YMCAユースリーダー会代表 菊池央人

私は昨年もこのグローバルフェスタに参加をしました。その時はほんの少しのリーダーでの参加でしたが、今年はたくさんのリーダーと企画を考えるとこから携わることができたことを嬉しく思います。白紙の状態からどんなことができるのか、どんなことをやりたいのかをリーダー同士の話し合いを通して考えていく過程がとても楽しかったです。今後もユースの力を発揮できる場が「みつきり」、たくさんの方と「つながり」、社会が一步でも「よくなっていく」ような活動を行っていきたいです。



【ユースのプレゼン】

▼ あずさ部評議会報告 ▼

米山 俊彦

7月15日(土)、小雨が降るさっぱりしない空模様でしたが、八王子市郊外の豊かな緑に囲まれた「高尾の森わくわくビレッジ」で行われた今年度1回目の「未来のために今、学びと気づきを！ 評議会」に出席してきました。当クラブからは、藤原会長、仙洞田さん、大澤さんと私の4名が出席しました。

冒頭、森本俊子部長からは、部長挨拶の中で「158名の会員がいるあずさ部のクラブ状況を、部長訪問などで、実際に見ながら、部長としてどのように活動をしていけば良いのかを考えていきたい。できれば、若い人達の活動を応援していきたい。」という話がありました。

議案審議では、議事の進行や議案の提案方法、前回の評議会から継続審議となっていた議案の扱いについて、出席者から意見がありました。次回の評議会に向けた課題とするなど、それぞれ対応を行う事で、各議案は、原案どおり承認されました。

クラブ会長活動方針では、会員の減少や高齢化が課題となる中、会員の増強を図る事も大切だが、そのためには、無理をせずに現状の維持に努め、魅力あるクラブ活動を目指していきたいという意見がありました。また、若い人達との協働事業や例会の開催

を行っていききたいという意見もありました。

当クラブでも、グローバルフェスタで実践できたようにクラブ会員ではない若い人達と協力をして、あるいは若い人達の感覚を取り入れて新たな活動に取り組んでいく事は、出来ると思います。また、既に、地元の大学生との協働事業に取り組んでいるクラブもあり、どのクラブにおいても、これからのワイズ活動の方向性の一つとして考えられるのではないのでしょうか。そうした事が、ひいては若い人達のワイズメンズクラブへの関心を高め、会員の増強に繋がっていければ良いと思いました。

その後の講演では、東日本区の山田公平理事から2023-24年度方針について話があり、その主題は、「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」、スローガンとしては、「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」でした。講演の後、参加者が7つのグループに分かれて話し合う時間が設定され、クラブ相互の情報や意見の交換ができた有意義な時間となりました。

最後は、次期部長のピーター・マウントフォード氏(甲府クラブ)による乾杯の発声で懇親会が始まり、富士五湖クラブの「富士山例会」への強力な(?)PRをはじめ、各クラブのユニークな取り組みのアピールなどもあり、和やかな懇親会となりました。





山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「山梨の夏」

毎年7月に入ると、チャイルドケアスタッフの足音に変化が生れ、私の耳はその足音を追う耳へと変化します。

山梨YMCAのチャイルドケア事業では放課後を預かる事業が多く、子ども達の通う学校が長期休暇を迎えると、家庭にかわり彼らの大切な夏を預かることとなります。子どもの笑顔を思い描きながら、人数把握、スタッフ配置、プログラム計画とスタッフ会を重ね準備を進めていくスタッフたちがおります。いよいよ夏休みと心弾ませる頃になる前日、守られる日々を信じて力強く、心静かに歩く姿へと変化していくのです。その姿を聞くと頼もしく、私に安心を与えてくれるのです。

7月21日、いよいよ夏休みが始まりました。昨年のコロナ禍の夏休みから一転、今年度の利用人数の多さに驚き、制限のない日々の子どもの姿にパワーを感じる毎日です。そのパワーが私たちをより一層高めてくれると実感しております。

ワイズメンズクラブの皆様には児童発達支援事業のキャンプのお手伝いをして頂くことになっております。こどもの成長だけではなくスタッフの頑張りにも注目して頂き、YMCAをお支えいただきますようお願いいたします。

また、総主事として夏の終わりを迎えるスタッフの足音に耳を立てながらこの夏が豊かに守られるように祈りを捧げます。

役員会報告

- ▼日時:7月26日(水) 18:30~20:00
- ▼場所:山梨YMCA
- ▼出席者:藤原・松本・米山・渡邊・仙洞田・福田
- ▼主な協議
 - ・7/8開催「やまなしグローバルフェスタ2023」の評価:今後の方向性を協議した。
 - ・8月例会の件:部長公式訪問と部長卓話
 - ・9月例会の件:外部講師卓話
- ▼YMCA情報
 - ・YVLF(9/30-10/1)に山梨YMCAから参加予定
 - ・AYC(アジア太平洋地域ユースコンボケーション:ネパール)に山梨Yの風間奈月さんを派遣予定、帰国後例会で報告を聴く。
- ▼その他
 - ・新入会員候補者について情報交換

甲府クラブの例会にて

仙洞田安宏

7月11日(火)、親クラブである甲府クラブの例会に大澤祥子会員とともに出席しました。この日の例会では二つの嬉しいことがありました。

一つは先の東日本区大会の“忘れ物”である、「新クラブ設立賞」が佐藤重良直前理事から田中克男直前会長に授けられました。同大会で私は「新入会員獲得最優秀個人賞」を頂戴しましたが、これは「新クラブ設立賞」とセットとっていたので“嬉しさも中くらい”でしたが、これで願いが叶った訳です。賞を目的にワイズ活動をしている訳ではありませんが、それでも「評価」されることは嬉しいことです。



【佐藤直前理事(右)から表彰された田中直前会長(中)】

もう一つは、鈴木健司さんが「東日本区奈良傳賞」を受賞したことに対し、クラブから花束が贈呈され祝福されました。日本区時代も含め甲府クラブの奈良傳賞受賞者は、鈴木さんで5人目となります。これは東京クラブとともに東日本区のクラブでは最多です。常に活発な活動を続けてきた歴史あるクラブの証左で、私はこのようなクラブに在籍していたことに誇りを憶えます。

ただ一つ寂しかったのは、いつもの談露館の例会場が、パーティションで仕切られたスペースで、長い間見慣れていた光景との違いに驚きました。期首会員数が22人とこのことで、これは1950年のチャーター(16人)以降最も少ない数字です。世の中が縮小社会なので、仕方ないと言えばそれまでですが、、、。

今後の予定

- ✓8月15日(火)
前期区費納期
- ✓9月6日(水)
9月例会(シャトレゼホテル談露館)
- ✓9月30日・10月1日
ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)
東京YMCA山中湖センター